

# まつしとしょかん がつごう 松支図書館だより 5月号

へいせい ねん がつ にちくまもと  
平成27年5月 1日熊本  
けんりつまつばせしえんがっこうとしょかんはっこう  
県立松橋支援学校図書館発行

まちこがれた さくら かいかせんげん  
待ち焦れた桜の開花宣言でしたが、あつという間に葉桜になり新緑のすがすがしい季節を迎え  
えました。校内では専門学科の生徒や先生方が、大切に育てられたいろいろな花が咲き乱れ、  
こうしゃない あか  
校舎内を明るくしてくれています。

がつごう げつまつ うんどうかい む 向けて、あか 明るいリズムカルな音楽も聞こえてくるようになり  
ました。ここで出会った新しい先生や友だちと、楽しい運動会をめざし、たくさん練習を重ねて  
おも で のこ うんどうかい ほ  
思い出に残る運動会にして欲しいものです。

はる どもくしよしゅうかん がつ にち げつ がつ にち きん はじ  
【春の読書週間4月20日(月)～5月1日(金)が始まっています！】

きかんちゅう としょかん  
この期間中に図書館オリエンテーションもしています。

ほん かしだし へんきやく やくそく ども  
本の貸出、返却、また約束ごとなども、さらにもう一度みなさん  
に注意喚起をして松橋支援学校の中でだれでも、いつでも図書館に  
あし はこ ちゅういかん き まつばせしえんがっこう なか としょかん  
足を運んでもらえるような“明るく楽しい図書館づくり”を目標に  
ひびがんば  
日々頑張っています。



## ☆☆☆宇城中央図書館の本について☆☆☆

としょかんちゅうおう うきちゅうおうとしょかん か  
図書館中央に宇城中央図書館から借りてきた300冊の  
ほん ほんこう がっき さつ ほん か  
本があります。本校では学期ごとに300冊の本を借りてき  
て、児童生徒のみなさん、先生方、保護者の方々に貸出を行  
っています。学校にない本や話題の本を集めてきました。  
じどうせいと せんせいがた ほごしゃ かたがた かしだし おこな  
児童生徒のみなさん、保護者の方、先生方もどしどし利用し  
てください。



## 【はたらくロボットのひみつ】学研まんがでよくわかるシリーズ100

みなさんがよく読んでいるこのシリーズ、今回で100冊目になります。館内ではコーナーをつくって設置し小学生のみなさんから高校生まで読まれている本です。

今回は、ロボット(産業用ロボット)の話です。工場などで人間の代わりに作業を行うはたらくロボット(産業用ロボット)は今では世の中に欠かせないものになっています。産業用ロボットにはどんな種類があるの?どんなふうにつくられるの?これからどんなロボットが登場するの???この本を読めばよくわかります。



☆☆☆ リレーエッセイNO. 39 ☆☆☆

「光源氏の魅力を知る」

私が好きな本は、「いつれの御時にか、女御、更衣あまたさぶらひたまひけるなかに、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけり。」で始まる「源氏物語」です。源氏物語といえば、はじめは、学生の頃の授業で習い、堅苦しい出会いでした。みなさんは、この本がおおの作家に現代語訳されていることを知っていますか？今回調べたところ15人以上の作家の方が訳されています。その中で私が好きなのは、瀬戸内寂聴さんが訳した本です。その理由は、①読みやすさ。スルスル〜と読み続けられます。②女心を引きつけてやまないストーリー。ご存じのとおり、主人公・光源氏の恋愛事情に何人もの女性が泣いたり恨んだり、また喜んだりしたものか……。本当に恨めしい色男です。

私は平安時代に書かれた古めかしさを感じさせない瀬戸内ワールドに引き込まれ、夢中で読み更け、いつしか「紫の上」と同化し、泣き憂いたものでした。みなさんも、一度源氏物語の魅力に触れてみませんか？

ちなみに瀬戸内寂聴さんは、女君たち（いわゆる光源氏が愛した女性達）を中心としてストーリーを展開する本も出されています。こちらもとてもおもしろく、よく分析して書かれた内容で、この本を読んで私は、末摘花の魅力が分かり、私にとっては許せる女性となりました。（あくまで紫の上サイドの私・・・）

最後にこの原稿を書くにあたり、読書のおもしろさを再確認できました。週末あたり本屋を巡り、新しい出会いを探しに出かけたくなりました。みなさんも心を震わせる本に出会えるといいですね。

《編集後記》☆☆☆☆☆☆

毎日通勤している道路脇にロウソクを灯したような鮮やかで可愛い赤い花がとても気になっていました。名前が知りたくて本を探しました。多分道ばたに咲く花なので、図書館の中の「草花」というキーワードで探しました。ちょうどそんな時に、何気なく行ったゴミ置き場のそばの寄宿舍花壇になんとなんと・・・その花がここにいるよとばかり咲いていました。その花の名前は『トリフォーリウム』別名「紅花詰草」。またストロベリートーチという名前で種子が売られているそうです。トリフォーリウムはラテン語で三つの葉という意味があります。この種類もまさしくクローバーの形の葉をつけていました。

また、我家の小さな庭に雑草ではないかと思われるヒメジョオンによく似た花が、毎年たくさんの花を咲かせてくれます。この花のことをオリエンテーションの時に題材にして、この本の紹介をしました。花の名前は『エリゲロン』別名「源平小菊」というでした。（分類番号：627）二つの花は同じ本に掲載され授業に役だってくれました。現在机に飾っています。どうぞ皆さん見に来て下さい。

